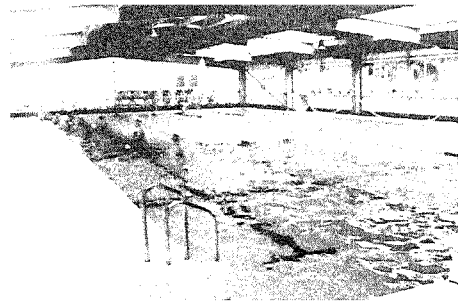
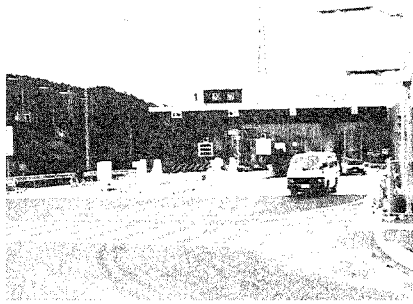


昭和59年



▶市民プール



▶都留インターチェンジ
(東京方面からの
下り口完成)

昭和60年

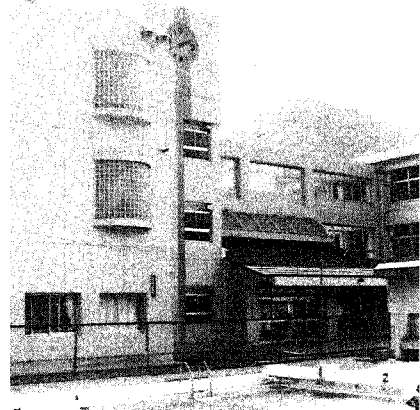
都留文科大學学長に立教大學教授 上田 薫氏就任
都留市民プール完成(室内)
大月都留衛生組合粗大ごみ処理施設完成
都留市民総合体育館完成
ボランティアビューロー開設
市民憲章記念碑建立除幕式
NHKのど自慢を市民総合体育館で実施
東桂地区大字変更(桂町・十日市場・夏狩)
かいじ国体会期決定
牛石橋完成
都留インターチェンジ開通
(東京方面からの下り口完成)
厚原地区土地改良事業完成
九鬼団地二年次一棟完成
市道川茂大棚線完成
宝小学校屋内運動場完成
宝小学校プール完成

奈良県大和高田市から国体旗が届く
東桂小学校屋内運動場完成
谷村第二小学校新校舎完成
都留・大月・上野原電報電話局管内が市外局番0554に統一
市営楽山球場でプロ野球イースタンリーグ公式試合



▲禾一小校舎建設中

(日本ハム)巨人戦
東日本軟式野球大会(かいじ国体リハーサル大会)
全日本教員バスケットボール選手権大会(かいじ国体リハーサル大会)
禾生第一小学校新校舎建設着工



▲谷二小校舎

広報三〇〇号を記念して、元広報委員五名の方に執筆をお願いしました。

市民と市のパイプ役

中央二丁目 中村 錦蔵

広報の使命は、と問えば何と言っても「市民と市のパイプ役」と答えるのではないのでしょうか。その点最近の広報を拝見しますと、可愛らしいイラスト入りで写真も多く取り入れ、見易く、何かと親しみ易さが工夫されており、老若男女誰からも楽しみながら

読める広報です。こんな感じがします。

先日、市内親戚の叔母の新盆に行った。故人のむかしを偲び、お茶飲み話にふけていた時、ふとそばを見ると分厚い市の広報が目にとまった。表紙もあり丁寧にとじ込めである。広報委員当時が懐かしく、ついパラパラとめくっていると、そばで孫娘が私に、「亡くなったおばあちゃんがいいつも読んで、大事にとじ込んでおいたんだよ」と話しかけた。盆の立ちこめる線香の香りの中にも、広報の歴史の臭いがあるんだなあ、とその責任の一端を感じた。

特に私は、職業柄でしようか、常に保健環境に関しての記事が目にとまります。その点いつも、前向きに取材されており、何となく健康的で温か味ある広報という感じがいたします。「どんな希望も、健康でありたいと思う願いに比べると小さいものである。」こんな言葉が思い出される広報でもあります。

間もなくかいじ国体、スポーツの交流と同時に心の交流でもあります。即ち、心と体の健康づくりに大いに貢献し地域に密着した、そんな広報であってほしいと思います。